事務事業名	来所•電話相談事業								
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博				

(1)	事業開始年度	昭和33年度		改正		じんの似れ電影	壬+□=火 」∕	N ⊟⊟=JL							
(2)	直近の改正	平成6年度		内容	יייין	じめの悩み電話	古作談」(り用設							
(3)	根拠法令等	吹田市立教育	「センター	 条例											
		☑ 全部		一部(上乗t	せ、横	出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした場	合はその訪	说明										
(5)	総合計画の体系	章 4	個性	 がひかる学	びと文	<u>-</u> と化創造のまち	ちづくり		節	1		細節		22	
		į.	<u> </u>	Σ	≤分	□ 内部管理	□ 内部管理 □ 建設事業 ☑ その他								-
		対象 (誰を、何を)		範	囲等	第 3歳から18歳(高等学校年齢)の幼児・児童・生徒及びその保護者									
(6)	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか) 情緒・ をおこ				L 動・学習・発達 う。	・いじめ・	·不登校 ·	・虐待・セク	クシャルハラ	ラスメント等	等について(のカウンセ	ヹリングや心	理療法
		結果 どのような効果が得られるのか) 教育相談員のカウンセリング、心理療法、発達相談によって本人、保護者の悩みを解消する。													
(7)	事業概要	に対してカウン	ンセリング	で心理療法	まをお	を利用して、臨 こない、「相談! 3日曜9時~1	専用ダイ	ヤル」を	開設して、	いじめやす	受校、そ				
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	1	目	2	大事業	3	中事業	1	小事業	1
		·	項目	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			平成26年 (2014年				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28: (2016年	
						予算(千円	1)	計左 (千 四)	予算(-	千円)	決算見込	(千円)	 予算(千	
						了异(丁).	3/	決算(1 1 1/	l l A \	1 1 1/	7	2 (1]/	J' A \ I	
			事業費(/	A)			55,747	决 昇('	56,206		58,296	777752	56,844		
			事業費(/		人			决 异('				***			59,093
		人件費		.数	人 F円	5	55,747	决 异()	56,206		58,296	W () V ()	56,844		59,093 0.50
		人件費	職員 総額 事業費(A	数 (B) = 1 (+B)		5	0.50 4,150 59,897	决 异('	56,206 0.50 3,974 60,180		58,296 0.50 4,176 62,472	W () V ()	56,844 0.50 4,176 61,020		59,093 0.50 4,085 63,178
(9)	事業費と 財源の内訳	人件費	職員 総額 事業費(A 持定財源	数 (B) = (C)		5	0.50 4,150 59,897 234	决 异()	56,206 0.50 3,974 60,180 237		58,296 0.50 4,176 62,472 245	W () V ()	56,844 0.50 4,176 61,020 240		59,093 0.50 4,085 63,178 248
(9)	事業費と 財源の内訳	人件費 総章	職員 総額 事業費(A 特定財源 国	(B) = (C)		5	0.50 4,150 69,897 234	决 异()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0	W () V ()	56,844 0.50 4,176 61,020 240 0		59,093 0.50 4,085 63,178 248
(9)		人件費 総 ³	職員 総額 事業費(A 持定財源 居 府	(B) = (C)		5	0.50 4,150 59,897 234 0	决 异()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0
(9)		人件費 総章	職員 総額 事業費(A 特定財源 国	(B) = (C) (C) (E) (D) (D) (D) (E) (D) (E) (E)		5	0.50 4,150 69,897 234	决 异()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0
(9)		人件費 総 (内訳)	職員 総額 事業費(A 特定財源 特定財源 存 その	(B) = (C) (C) (I = (D) (D)		5	0.50 4,150 59,897 234 0 0	决 昇(56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930
(9)		人件費	職員 総額 事業費(A 特定財源 時定財源 石 その 市負担(I	数 (B) = (A+B) (C) 		5	0.50 4,150 59,897 234 0 0 234 59,663	决 异()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0 237 59,943		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0 245 62,227		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240 60,780		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930
(9)		人件費 総 (内訳)	職員 総費(A 事業財源 時定財源 を担け 市負担(1	数 (B) = 1 (C) (C) (D) :债		5	0.50 4,150 69,897 234 0 0 234 69,663	决 昇()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0 237 59,943		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0 245 62,227 0		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240 60,780 0		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930 0
(9)		人件費 総 (内訳) (内訳) (内訳) (内訳) (内訳) (内訳)	職員 総費(A 事業財 存 を担し 一 一 計 が で で で の で の で の で の に の の り の り の り の り の り の り の り の り の	数 (B) = (A) (C) (C) (D) (d) (d)		5	0.50 4,150 69,897 234 0 0 234 69,663 0	决 昇()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0 237 59,943 0		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0 245 62,227 0		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240 60,780 0		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930 0 62,930 63,178
(9)	財源の内訳	人件費 (內訳) (內訳) (內訳) 直接	職員 総費(A 事業財 予 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申	数 (B) = 1 (C) 		5	0.50 4,150 69,897 234 0 0 234 69,663 0	决 昇()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0 237 59,943 0 0 59,943		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0 245 62,227 0 0 62,227		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240 60,780 0 60,780		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930 0 62,930
	財源の内訳 実施方法	人件費 (內訳) (內訳) (內訳) 直接	職員 総 書 は 本 は ま は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	数 (B) = 1 (C) 	FM	5	0.50 4,150 69,897 234 0 0 234 69,663 0 0 59,663 69,897	决 昇()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0 237 59,943 0 0 59,943		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0 245 62,227 0 0 62,227		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240 60,780 0 60,780		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930 0 62,930
(10)	財源の内訳 実施方法	人 (内訳) (内記) (日本) (日本)	事 は	数 (B) (C) (C) (D) (d	FM	5 5 5 季託先	0.50 4,150 69,897 234 0 0 234 69,663 0 0 0 69,663 69,897	决 昇()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0 237 59,943 0 0 59,943		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0 245 62,227 0 0 62,227		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240 60,780 0 60,780		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930 0 62,930
	財源の内訳実施方法(該当するもの	人 (内訳) (内記) (内記)	職員 総 書 は 本 は ま は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	数 (B) (C) (C) (D) (d	FM	5 5 5 5	0.50 4,150 69,897 234 0 0 0 234 69,663 0 0 69,663 69,897	决 昇()	56,206 0.50 3,974 60,180 237 0 0 237 59,943 0 0 59,943		58,296 0.50 4,176 62,472 245 0 0 245 62,227 0 0 62,227		56,844 0.50 4,176 61,020 240 0 240 60,780 0 60,780		59,093 0.50 4,085 63,178 248 0 0 248 62,930 0 62,930

2 評	<u>ш</u> су	指標等	指標項目		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			開設時間	目標値	(単	位:時間)		2,076.00	2,076.00	2,076.00
		指標 内容		実績値	(単	位:時間)		2,228.00	2,220.00	
	1				達成度	(%)		107.3	106.9	
		目標値 の積算	(平日)+(木曜夜間)+(第三日曜・電話相談のみ)(8時間×5日×45週)+(4時間		総事業費(単位:千円)			27.01	27.49	
1		の槓算 方法	45週)+(8時間×1日×12回)	りコスト	一般財源	(単位:千円)		26.90	27.38	
活動指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			相談回数	目標値	(単	ú 位:回)		3,780.00	3,780.00	3,780.00
		指標 内容		実績値	(単	並位:回)		3,413.00	3,718.00	
	①				達成度	(%)		90.3	98.4	
		目標値 の積算	(相談回数)×(相談日数)×(相談員数) 3.5回×(4日×45週)×6人	単位当た	総事業費(単位:千円)		17.63		16.4	
2 		方法		りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		17.56	16.35	5
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2						0.0		0.0	
		目標値 の積算		単位当た				0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源	i(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 困 指	1	活動 内容					目標			
五難な場合 場で示す	2	成果 内容					達成 状況			
	<u> </u>	4	」 う後の方向性 (実施計画) □ 拡充	☑ 継続	t	□ 縮小	•		廃止 □	終期の設定
(4)総	今 評		さまざまな悩みを抱え センターでの来所・電とも連携・協力するなどに対応するために実施 持しながら、市民に満 年度から木曜日に夜間 かがえます。行政直営 事業者への委託は難	話相談は、 かで、いじぬ をしており、 足してもら 間相談(17 まで実施す	幼稚園や め、不登村 相談員は えるような けらことに ることに	小・中学校な 、児童虐待な 、大学教授等 は相談活動に勢)を開始しまし いては、現時	どの教育の発達師の専門の場合の表達の専門のでいたが、相ばでこれ	がい等、記載がい等、記載から指導ます。また。またはこれだけの規	た他の公的相談 そどもたちの多様 尊・助言を受け、 、相談機会の拡 ・杯になっており	機関や療育機関で複雑化した課題常に高い資質を維 大として、平成24

所属名	教育センター				
事務事業番号	00919	事業名	来所電話相談事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
1112	100 100 1111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	—: .i.e lei		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	.i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u></u>	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/IIX
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	20	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	<i></i>
				5	
			a. 日標を工画る人は日標とおりの足形状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u> </u>	点
				E	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(= - /III /		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 - 東番毛はの検討や東窓改善に取り組む、見せ始な成果を上げている。(5-5)		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 L		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20)11()		③適正な受益者負担を求めていますか。 ************************************	_	<u>.</u>
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
	1+ v+ 		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	······································	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育センター	事務事業番号	00919		
2 各視点	いらの評価の点数では	は表れない事項(必要に	応じて記載)		
2 事效目	下来の 担件八代				
	事業の現状分析	 主要な政策課題		して手上がた取る	7. O. III
(一) 本事素	(の位置付け	□ としての取組	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	として重点的な取組	□ その他
(2)各視点	からの評価結果			妥当性 10 5 0 効率性	
(3)現状分	た が析 度	:。内容も不登校、問題行動 :す。 相談人数は、経年で比較す	か、発達障がいに関する よると微増減を繰り返し	るものが多く、学校の抱える 、ていますが、就労する保護	近べ相談回数は3,718回でし 課題を反映したものとなってい 者への対応として、平成24年 忰はほぼ満杯の状態となって
4 その化	也(国・府の動向など、当	á該事業に関係する特記]事項)		

事務事業名	出張教育相談事業								
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博				

	中加中未 V/W	N 文															
(1)	事業開始年度	平成8年度			改正	n/⇔ r=	1 - 1 - 1 , 1 , 22 4 ± -	^oct÷	1 — ±4	女和=	火旦ナンドン	ᄬᄼᆓᅷᇬᄀ	左帝 LUC	20++1			
(2)	直近の改正	平成21年度			内容	吹田	1市立小学校	主づり校	1〜4X	月伯吉	災貝を 派1	邑(平成2/-	年及よりご	30校)			
(3)	根拠法令等	吹田市立教育	うセンク	7一条例													
		☑ 全部		□ 一部((上乗せ	€せ、横出し等あり) □ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							9)				
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	と場合は	その説	の説明											
(5)	総合計画の体系	章 4	4 個	性がひ	かる学び	いる学びと文化創造のまちづく					節	1		糸	細節	22	
		<u> </u>	<u> </u>		区	分	□ 内部管	理		建設	事業	☑ そのf	<u> </u>				
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	吹田市立全小学校区の幼児・児童とその保護者及び教職員										
(6)	目 的						した 炎を実施する。 oとともに、学						課題のあ	る子どもに対	対する保証	護者や学校の である	 D理解
							b問題行動、 た、学力の向)学校課題	見が減少した	:り、児童	生徒が安定	した学校	生活を送れ	るように
(7)		教職員に対し	、てコン	サルテー	ーション	をおこ	□資格を持つ。 □なったり、会 □校に対し、そ	除議に出	席して	て助言	していま	す。			らをおこな 	っています。	また、
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	0	項	1	E		2	大事業	3	中事業	2	小事業	1
		項目						平成2 (2014						?7年度 5年度)		平成28: (2016年	
							予算(千	円)	ž	央算 (千円)	予算(-	千円)	決算見込	(千円)	予算(千	一円)
			事業領	費(A)	1			240			276		244		231		244
		人件費	耶	貴数		\		0.50			0.50		0.50		0.50		0.50
				:額(B)		円		4,150			3,974		4,176		4,176		4,085
				(A+B)			4,390			4,250		4,420		4,407		4,329
(9)	事業費と 財源の内訳	· ;	特定財	源(C)				0			0		0		0		0
		内 ——		国 ——				0			0		0		0		0
		訳		府 その他				0			0		0		0		0
				型(D)				4,390			4,250		4,420		4,407		4,329
				三、 <u>三</u> 也方債				0			0		0		0		0
		内		<u>- 77 人</u> その他				0			0		0		0		0
		訳 ·						4,390			4,250		4,420		4,407		4,329
		 		(C+D)				4,390			4,250		4,420		4,407		4,329
		☑ 直接	実施											<u> </u>			
								1									
		│ │ □ 委託	- ∀ (+-	−部委託	<u>.</u>		委託先	2									
	実施方法			пруп	,			3									
(10)						主	な委託内容										
/	(該当するもの は全部チェック)							1									
		□ 補助]金•負	担金			交付先	2									
								3									
		□ その	他				内容										

2 評	, · ·	指標等	指標項目	======================================		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			相談員派遣回数		目標値	重)	単位:回)		690.00	708.00	708.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:回)		721.00	723.00	
	1					達成度	(%)		104.5	102.1	
		目標値 の積算	(年間派遣回数) 30回×1校+18	×(学校数) 3回×30校(h26)	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)	5.89		6.10	
1 🔾		の積算 方法		3回×31校(h27~)	りコスト	一般財源	原(単位:千円)		5.89	6.10	
活動指標					日標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
I I 標 I		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			総事業費(単位:千円) 単位当た 総事業費(単位:千円)		隆(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			相談回数(~平成	č27年度)	目標値	<u>i</u>)	単位:回)		3,540.00	3,540.00	0.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:回)		2,494.00	3,340.00	
	1					達成度	達成度(%)		70.5	94.4	
		目標値 の積算	(1日相談回数); 数)(5×30×6)	×(年間派遣回数)×(学校 +(5×18×26)+(5×	単位当た	総事業費	覧(単位:千円)		1.70	1.32	
2 		の槓算 方法	$35 \times 1) + (5 \times 2$	25×1)	りコスト	一般財源	京(単位:千円)		1.70	1.32	
成 果 指 標			相談回数(~平成	28年度)	目標値	<u>i</u>)	単位:回)		0.00	0.00	3,640.00
標		指標 内容 目標質			実績値	<u>i</u>)	単位:回)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
			数)(5×30×5)	×(年間派遣回数)×(学校 +(5×18×26)+(5×	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
		方法	$35 \times 2) + (5 \times 2)$	20×2)	りコスト	一般財源	原(単位:千円)	0.00		0.00	
		・ナ キュ			•						
の 3 が〜	1	活動 内容						目標			
困指難標なる											
なで場示合す	2	成果 内容						達成 状況			
		4	│ う後の方向性		سرم دادای		/l. 1		_	_	₩ ₩ ₩ ₩
			(実施計画)	,,,,,,	☑ 継続		□縮小				終期の設定
(4)総	4)総合評価		評価の説明	平成27年度は6校に 回派遣、また2校に午 名分の枠を発達相談員 が難しいため、各校で く必要があります。また 業を実施し、学校との ていきます。	後から20[1名分に の実績を原 、行政直	回から25 転換して 気映させ <i>を</i> 営で事業	回程度の派遣 おり、教育相記 よがらニーズに 実施することの	遣を行いる 炎員1名》 に十分応 の必要性	ました。平 咸員の状え えられるよ についてI	成26年度より教 兄ではニーズの う、さらに工夫・ よ、現時点ではこ	育相談員のうち1 曽加に応えること 改善を検討してい このような内容で事

所属名	教育センター				
事務事業番号	00920	事業名	出張教育相談事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		18	②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性 (20点)		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)		20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3)					
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20点)	20			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	 点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。		
	(=0 /m/		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価	「点合計 「点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 教育センター	事務事業番号 00920								
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	·記載)							
3 事務事業の現状分析									
3 事份事未の現仏万例	→								
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他						
(2)各視点からの評価結果	持続可能	安当性 10 10 有効性 公平性 効率性							
(3)現状分析	平成21年度に初めて教育相談員を市内全小学校に隔週配置しましたが、事業改善・見直しの観点から、 平成23年度から相談ニーズに応じて派遣回数を設定しました。相談回数を増やした学校では相談人数・回数ともに増えており、相談枠いっぱいになっているのが現状となっています。特に最近では発達の課題に悩む児童・生徒・保護者が多く、発達検査の依頼も増加しており、平成26年度からは午後から20回程度の派遣校を設定するなど工夫をしているものの、現在の相談員数ではこれ以上の派遣回数の拡大は難しい状況となっています。 また、児童生徒の支援について検討する会議に出張教育相談員が出席して助言したり、教職員に対するンサルテーションを数多く行うことで、学校から厚い信頼を得ています。								
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)								

事務事業名	不登校児童・生徒支援事業										
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博						

ı	事務事業の機	太安															
(1)	事業開始年度	平成4年度		5	数正 _不	· 多坎旧帝。	上往の≧	学333 江	F動を由	かっ 幸 控・	よる済内性	道数字[1	との赤 「学	バの赤い	チ動の宝体		
(2)	直近の改正	平成19年度		P	内容	S登校児童∙⊴	土1疋0万寸	产自社	割で中	いに又抜	9 つ週心作:	等叙主! フ	┖╜ᡮ᠋ᡝ	いり称』	古凱の夫加		
(3)	根拠法令等	吹田市立教育·	センター	-条例													
		☑ 全部		一部(」	上乗せ、	横出し等あり	J)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	クした場	易合はそ	その説明			l									
(5)	総合計画の体系	章 4	個性	がひか	る学びと	 Ŀ文化創造の)まちづ [,]	くり		節		1	細節		22		
					区分	、 □ 内部	 『管理		<u> </u>] 建設	——— 事業	✓ そのf	<u></u> Њ			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)				等 吹田市立											
(6)	目 的	目標	目標 (どういう状態にしたいのか)														
			たいのた))	1 32 12												
		結果 (どのような効果 <i>)</i>	が得られる	るのか)	不登核	校児童・生徒の学校復帰、進学及び社会的自立を図る											
(7)	争未似安	家から出られない児童・生徒についてはフレンドによる家庭訪問活動をとおして外出に導き、家から出ることができる不登校児童・生応指導教室(「光の森」「学びの森」活動)においてフレンド(学生や教員OB等)や教育相談員(臨床心理士)の支援を受けながら、グ動や学習活動を行っています。これらの活動をとおして社会性を身につけるとともに、児童・生徒自身の自立・自己実現を図ることであっための支援を行っています。										ながら、グリ	レープ活				
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	1		目	2	大事業	3	中事業	3	小事業	1	
			項目	1	•			或26年)14年					:7年度 i年度)		平成28 (2016 ^左		
						予算((千円)		決算(千円)	予算(-	千円)	決算見辺	(千円)	予算(=	·円)	
			事業費((A)			18,853			17,595		19,043		17,117		18,372	
		│ │ 人件費 ├─	職員	数	人		0.60					0.60		0.60			
				頁(B) 千円		3	4,98				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		·		·		
	* * # 1		業費(/			23,833				22,364		24,055		22,129	 		
(9)	事業費と 財源の内訳	特	定財源			44				44		46		45		46	
		内 ———	 吃					0		0		0		0		0	
		訳	その					44		44		46		45		46	
		Ī	 市負担(23,7			22,319						23,228	
			地方]債				0		0		0	·			0	
		内	その	他				0		0		0		0		0	
		Ŭ/\ ·	一般	財源			23,7	89		22,319		24,009		22,084	4 23,228		
			源計(C	+D)			23,8	33		22,363		24,055		22,129		23,274	
		☑ 直接写	実施 ———					<u>. </u>									
	実施方法	□ 委託ス	又は一部	『委託		委託先	委託先 ② ③										
(10)						主な委託内		<u>. </u>									
	は全部チェック)	┌╸ ╽ ╬┡╅	仝 . 	소		六八生											
		口 補助金	┎╹貝怛)	<u> 177</u>		交付先		3									
		□ その他	□ その他					<u> </u>									

2 評		指標等	指標項目	■		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			「光の森」及び「学	どびの森」の活動日数	目標値	(単	位:日)		350.00	350.00	350.00
		指標 内容			実績値	(単	位:日)		374.00	368.00	
	1					達成度例	%)		106.9	105.1	
		目標値	5日×35週×2(箇所)	単位当た	総事業費(単位:千円)			59.80	60.13	
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源			59.68	60.01	
活動指標					目標値	(直	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(直	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
					目標値	道)	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	道)	単位:)	0.00		0.00	
	1					達成度(外	%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(直	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(<u>E</u>	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%	達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た				0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
の の3 が 困指	1	活動 内容						目標			
開たる場合は、	2	成果 内容		「の森活動では、児童・ 交・専門学校等への進 ^き			ます。中学3年	達成 状況	光・学びの森に在籍する中学2年生までの会 4名のうち学校復帰したのが6名でした。中等 全員が高校等に進学しました。		
		4	- 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	Ē	□縮小	•	,	廃止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	入会前の保護者の 活動・「学びの森」に 入会手続きについて 生徒の学校復帰に 今後も「学校復帰 タッフの連携を強化	舌動のそれぞだ ても学校訪問 つながるよう! を目指すシス	が必要です。また、 連携を深め、児童・					

所属名	教育センター				
事務事業番号	00921	事業名	不登校児童・生徒支援事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> 5の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	
	立业州		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	-	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		788
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	-		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点) 	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			1単位当たりコストは適正ですか。		無
			し年位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	 点
(3)			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	効率性 (20点)	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - は古っまたはなり、3×3×3×3×4×3×4×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, ,	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	点合計	90	← ※自動計算します。		
(100	点満点)		(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育センター	事務事業番号 009	921								
2 各視点	からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応	じて記載)								
2 車 教 車	■業の現状分析										
	の位置付け	主要な政策課題 としての取組		部として重点的な取組	□ その他						
(2)各視点	からの評価結果	持約	売可能性 公平性	妥当性 20 10 5 0 有効性 効率性							
(3)現状分	·析	平成4年度から実施されていたを加え、本事業は現在3つの活確にするため、平成23年度には学校との連携をはじめとした、党評価(二次評価)において「事業す。	動で構成している は、教育相談員に 学校復帰に向けた	₹す。「学校復帰を目指すシ よる個々の児童・生徒への当 :支援活動を効率的に実施し	ステム」という方向性をより明 学校復帰プログラムを策定し、 ています。平成26年度は行政						
4	4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)										
4 ~ UJ1	s(凹 ⁻ がV)判別のる。	コ政尹未1〜 街 ボりの付記事	· · ··································								

|--|

事務事業名	特別支援教育推進事業									
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博					

<u> </u>	中切中未 V/W	L 女															
(1)	事業開始年度	平成15年度															
(2)	直近の改正				内容												
(3)	根拠法令等																
		☑ 全部		一部(上乗せ	、横b	出し等あり))		なし	(国•府制	度もしくはえ	去令等で	市が実施す	 _る義務あ	54)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした		場合は ⁻	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 4	相 個·	性がひた	かる学び	バと文	て化創造の	まちづくり	J		節		1		細節	22	
					区	分	□ 内部領	 管理		建設	 事業	☑ その他	<u></u> 也			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)				事等	対稚園及び小・中学校の通常学級に在籍する学習障がい、注意欠陥多動性障がい、自閉症スペクトラム障がいなどの特別な教育的支援を必要とする園児・児童・生徒と、その指導にあたる教職員										
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの)か)		課題のある子どもを早期に発見し、生活・行動面での二次障害を防止するとともに、有効な支援方策を立れるよう学校・園のシステム構築を支援し、学校・園がそれぞれの子どもの特性に応じた教育活動を推進 れるよう学校・園のシステム構築を支援し、学校・園がそれぞれの子どもの特性に応じた教育活動を推進											
		10071					HDやASD等の発達障がいのある子どもが、自らの持てる能力を十分に発揮して社会に適応するとと 立した生活を送ることができる。										
(7)	事業概要	巡回し、LD、 特性に応じた (2)特別支援 施して支援・ほ (3)専門家チ	1)巡回相談の実施:言語聴覚士資格を持つ発達相談員1名と作業療法士の資格を持つ発達相談員1名、教員9名が幼稚園や小・中学校を 巡回し、LD、ADHDやASD等の発達障がいのある子どもを早期発見し、不登校等の生活面や行動面での二次障がいを防止するとともに、 寺性に応じた教育的支援を受けられるようにしています。 2)特別支援教育研修の実施:教職員が発達障がいの知識や支援の方法などを学び、校内指導体制の充実を図り、保護者対象の研修を実 をして支援・啓発活動を行っています。 3)専門家チームによる支援:発達相談員や巡回相談担当者、大学教員で専門家チームを編制し、さまざまなケースに対して指導・助言や実 ま・研究を行っています。														
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	0	項	1		目	2	大事業	3	中事業	4	小事業	1
			項					平成2 (2014						?7年度 6年度)		平成28 (2016 ^左	
			予算(=	千円)		決算(千円)	予算(=	千円)	決算見過	込(千円)	予算(=	- 円)				
		事業費(A)						7,666	5		4,683		8,123		5,898		8,203
		人件費	職	職員数		\	0.30			0.30			0.30		0.30		
		7 111 20	総額	額(B)	千	円		2,490			2,385	2,506			2,506	2,451	
				(A+B)		10,156			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					8,404			
(9)	事業費と 財源の内訳	!	特定財				30				18			24	33		
	761 WW 62 F 1 DV	内		国			0				0			0			
		訳		府				0						0		0	
			ー <u>て</u> 市負担	<u>の他</u>				10,126			7.040				24		33 10,621
				· 方債				10,120	 	·		·		<u> </u>	8,380		10,021
		内		刀優 の他							0		0		0		0
		訳		<u></u> _と 財源				10,126			7,049		10,596		8,380		10,621
		<u> </u>						10,156			7,067		10,629		8,404		10,654
		☑ 直接						· ·			·		· ·		<u> </u>	1	
	実施方法	□ 委託						委託先 ① ② ③									
(10)						主	な委託内容		T								
	(該当するもの は全部チェック)	_ 175	A 4	·- Δ			,, ,,, ,, ,,	1	1								
		□補助]金•負打	旦金			交付先	2	<u> </u>								
			他				 内容	3									

			指標項目			項目		平成2 (2014		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
				学校ブロックに配置する巡回相談担当者 (回コーディネータ)数					単位:人)		18.00	18.00	18.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:人)		9.00	9.00	/		
	1					達成度	(%)		50.0	50.0			
$\overline{}$		目標値	中学校ブロックに (巡回コーディネー	:配置する巡回相談担当者 ータ)数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		785.33	933.78			
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		783.33	931.11			
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度	(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法 				一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00			
			巡回相談訪問回	巡回相談訪問回数			単位:回)		245.00	315.00	315.00		
		指標 内容			実績値	<u>í</u>)	単位:回)	301.0		230.00			
	1					達成度	(%)		122.9	73.0			
		目標値の積質	7回×35週(平原	回数)×(学校授業週数) は26年度)	単位当た	総事業費	費(単位:千円)	23.48		36.54			
2 成		方法	9回×35週(~ ^፯	' 成27年度) 	りコスト	一般財源	原(単位:千円)		23.42	36.43			
成果指標					目標値	(· 単位 :)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度	(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円) 一般財源(単位:千円)			0.00				
		方法			りコスト			0.00		0.00			
のが困難	1	活動内容						目標					
難な場合	2	成果内容		達成 状況									
	1	4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続		□縮小				終期の設定		
(4)総合評価		価	評価の説明	発達上の課題がある かわり方、指導が求め を打つことで、子ども自 小学校1年生を対象を 一学校1年生を対象を 一学校1年生を作業を でいます。 一方でいます。 市内には発達に課題 ためニーズは増していた。	られている 身の困り する巡回を ま士の発達 があると のであると	ます。特に 感をの実 相談を 相談を ある もれる	LD(学習障が く軽減し、その 施が有効であ 2名と発達課題 っています。巡 こりすることで 子どもたちが7	が)の子 後の学校 ると考え 国に高い矢 図回相談が 、 6%お	どもは低空 とれます。 可見のある では子 発達課題 (本市調	学年のうちに発見 ごしやすくできる このような課題に 通級指導教室教 の様子を参観し への対応力を高る	し適切な手立てにとから、全てのに対応するため、 な員を巡回コー、教職員に指導めるための支援を		

所属名	教育センター				
事務事業番号	00922	事業名	特別支援教育推進事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та 	1071九	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	
			a. 日標を工画る文は日標とおりの足形状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u> </u>	点
				. .	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1コストは第五でする。(5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	16	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
	(== 71117)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	<u> </u>	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 ロードスの水準は第二で、窓共来の場の大見から見ても理解が得られる。(5.5)		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(ZOM()		③適正な受益者負担を求めていますか。 ************************************	_	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ / + 		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	······································	
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 教育センター	事務事業番号 00922 		
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 15 10 5 0 3 2 4 3 2 3 2 4 3 3 4 4	
(3)現状分析	の割合は年々増えており、大きな課 パーセントの子どもに発達上の課題 法的に個々のケースに対応するので のレベルを底上げすることが必要で 切な対応をおこなうための研修をおこ を考えていくための専門家からの助	に通う約3万人の子どもの中で、発達上の題となっています。平成27年度に独自にが考えられると言う結果が出ました。こればなく、学校が発達課題に応えていける、そのためには、教員が発達障がいに対しなったり、子どもの状況を的確に見立て言が不可欠となっています。このような活の子どもを対象として実施しました。今後、発達課題に対応していきます。	行った調査では全体の約7.6 らの課題に対しては、対処療 ような力をつけることで市全体 する正しい知識を身につけ、適 、個に応じた具体的な指導法 動を行う巡回相談を平成27年
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		

事務事業名	進路選択支援事業					
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博	

•	1-101-1-10																	
(1)	事業開始年度	平成18年度			改正													
(2)	直近の改正	平成20年度			内容													
(3)	根拠法令等	大阪府総合相]談事業	交付金	交付要	長綱												
		☑ 全部 □ 一部(上乗せ、様					出し等あり	はし等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はその		その説	明													
(5)	総合計画の体系	章 4	個性	生がひた	いる学で	ゾとブ		つまちづ	うくり		節		1		細節		17	
		<u> </u>			区	□ 区分 □ 内部管理				建	 設事業	☑ その	 他			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を) 範囲			囲等 中学校及び高等学校年齢の青少年および保護者(30,000人)													
(6)	目 的										産事情や経 や不安を解		:どによって	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [念すること	:なく、将来	この	
		結果 (どのような効果	い得られ	しるのか)	自己	己の道	進路を決定	ごするこ	とで、目	自己事	≷現を図り、	将来に展望	を持つこと	とができる	00			
(7)	争未似安	吹田市が、大阪府総合相談事業交付金を活用して実施している総合相談事業の一部として、進路選択に係る相談員を配置し、相行っています。 相談窓口は教育センターに設置し、相談員による相談活動を通して、自己の進路決定に関して不安や悩みを持つ対象者の支援をで、進路指導の充実を図っています。																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	0	項	1		目	2	大事業	3	中事業	5	小事業	1	
		項目						成26年 1014年)					7年度 (年度)			28年度 6年度)		
							予算((千円)		決算	(千円)	予算(千円)	決算見	込(千円)	予算	予算(千円)	
		事業費(A)				1,070		070		1,082	2	1,101		1,097	7	1,101		
		人件費	人件費 職員数 人			0.10				0.10	+	0.10		0.10		0.10		
		<i>t</i> .n		(B)	<u></u> 千円				830	795			836		836			
	事業費と		事業費(1,900				1,877		1,937 1,050		1,933			
(9)	事来員と 財源の内訳	1	持定財源	示(し <i>)</i> 国			1,050				1,050		0		0		,,,,,	
		内		<u>当</u> 一 存			1,050				1,050		1,050			1		
		訳 ·		 の他			0			0		0			+	<u> </u>		
		I	市負担	(D)			850			827		887	1,933		868			
			地	方債					0	0		0	0 0)	0		
		内 訳	そ(の他					0		C)	0		C		0	
		<u> </u>		財源					850		827	7 887			1,933		868	
			∤源計(C	C+D)				1,9	900		1,877	7	1,937		1,933	3	1,918	
	実施方法		☑ 直接実施 □ 委託又は一部委託				委託先		① ② ③									
(10)						<u> </u>	とな委託内											
	は全部チェック)	┌┐╶┼╩╺┸╴		1소			六八十	-	1									
		□ 補助	□金•負担	<u>-1 जर</u>			交付先	<u> </u>	3									
		□ その他			内容		<u> </u>											

2 評		指標等	指標項目		項目	平成2 (2014		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			進路選択支援相談開設時間	目標値	(単位:時間)		496.00	496.00	496.00
		指標 内容		実績値	(単位:時間)		496.00	496.00	
	1				達成度(%)		100.0	100.0	
		目標値 の積算	(時間)×(日数)×(月数) (5. 25時間×4日×12月)	単位当た	総事業費(単位:千円)		3.78	3.90	
1		の積算 方法	+(5.08時間×4日×12月)	りコスト	一般財源(単位:千円)		1.67	3.90	
活動指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			相談回数	目標値	(単位:回)		96.00	96.00	96.00
		指標 内容		実績値	(単位:回)		116.00 127		
	1				達成度(%)		120.8	132.3	
		目標値 の積算	(相談回数)×(日数)×(月数) 1件/1日×8日/月×12か月	単位当た	総事業費(単位:千円)		16.18	15.22	
2 		の積昇 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		7.13	15.22	
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
		江手					_		•
の 3 が〜	1	活動 内容				目標			
困指 難標									
な場でいる。	2	成果 内容				達成 状況			
台す		——————————————————————————————————————				7)(7)(
			今後の方向性 (実施計画) □ 拡充	☑ 継続	□縮り	`	□	≨ 正 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		すべての子どもたちに進路を考え、将来	に展望を持た り広く周知を	情や経済的理由などに させていくため、行政と 図るとともに、関係部局 ります。	しての支	援は必要	です。	

所属名	教育センター				
事務事業番号	00923	事業名	進路選択支援事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性	4.0	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性	4.0	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	••••••	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
〔3〕 効率作 〔20点					
	効落性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20点)	14			
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16		••••••	
	21177		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
——		82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 教育センター	事務事業番号 00923				
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて				
3 事務事業の現状分析 (1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他		
(2)各視点からの評価結果	持続可能	妥当性 10 有効 公平性 数率性	生		
(3)現状分析	多くなるなど、月別件数には偏りが 済面での具体的な支援策について 策等を助言するなど、多様な対応を	するものであるため学校での進路希望 ありますが、平成27年度は127回の相 情報提供等を行うほか、必要に応じ関係 行いました。平成26年度からは相談員 日に勤務するようにして柔軟に対応しま	談があり、奨学金貸し付け等経 系部局とケース会議を開催し支援 員の勤務日を一部変更し、公立高		
4 その他(国·府の動向など、当該事業に関係する特記事項)					
	コの予木では下げる行品学は				

事業番号	00924
TABO	00027

事務事業名			教職員研修事業		
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博

	于初于未U/M	N 文														
(1)	事業開始年度	不明			改正	なし										
(2)	直近の改正	なし			内容	みし										
(3)	根拠法令等	地方公務員》	法第39	条、教育	公務員	持例	测法第19条∙第	20条、	吹田市	立教育セン	ター条例					
		☑ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり)		ロな	」(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明										
(5)	総合計画の体系	章	4 個 [']	性がひた	かる学で	バとメ	て化創造のまち	づくり		節		1		細節	22	
					区	分	☑ 内部管理	! [設事業	□ その1	也				
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	市立幼稚園・小	 小学校・	中学校	教職員	L					
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいの)か)	教育	課是	 課題・教職の専門性について見識を高め、教職員の資質・指導力向上をはかる。									
		結果 (どのような効!	果が得られ	れるのか)				実が図り	られ、≐	学校力が高め	かられるとと	もに、園り	見∙児童∙绉	き徒の学力	(総合的人間力)の	
(7)		教職員の自 別研修、特別 育センター情	刂支援教	育研修	、専門耶	哉等	研修、情報教育	を目指しない	、管理 を実加	間研修、キ 近しています	ャリアステー 。また、情幸	−ジに応じ 段実技研修	た研修、教 を実施す	教育課題別 るために研]研修、教科・領域 研修用パソコンを教	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	0	項	1	目	2	大事業	4	中事業	1	小事業 1	
			項	目				平成26: (2014年				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)	
							予算(千円)	決算	「千円)	予算(-	千円)	決算見证	込(千円)	予算(千円)	
			事業費					4,133		4,060		3,680		3,572	3,671	
		大件費 職員数				2.10		2.10								
		, and		額(B) (A L =)		円		7,430					·			
	事業費と		事業費)		2	1,563		20,749		21,220				
(9)	財源の内訳		特定財法					0		0		0				
		内 		<u>'''</u> 府				0	0						_	
		訳	そ	の他				0		0		0		0	0	
			市負担	(D)			2	1,563		20,749		21,220		21,112	20,828	
		<u> </u>	地	方債				0		0		0		0	0	
		訳		の他				0		0		0				
		<u> </u>		设財源				1,563		20,749		21,220				
			財源計() *宝佐	C+D)			2	1,563		20,749		21,220		21,112	20,828	
		☑直接	女天心					1								
							委託先	2								
	F + + - + \	│ □ 委託 ┃	モ又は一	·部委託				3						平成28年 (2016年) 見込(千円) 予算(千月 3,572 2.10 17,540 21,112 0 0 0 21,112 0 21,112		
(10)	実施方法					主	な委託内容									
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1								
	15 T HP / T / / /	□ 補助	カ金∙負拮	坦金			交付先	2								
								3								
		ロその)他				内容									

2 評·		指標等	指標項目			項目			16年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			教職員研修講座開	司 設数	目標値	<u>i</u>)	単位:回)		200.00	200.00	200.00
		指標 内容			実績値	重)	単位:回)		198.00	180.00	
	1					達成度	(%)		99.0	90.0	
		目標値		22(初任16+10年6)+ +教育課題+教科+幼	・ 単位当た	総事業費	뤛(単位:千円)		104.79	117.29	
1 		の積算 方法	稚園+特別支援)	十情報教育40	りコスト	一般財源	原(単位:千円)		104.79	117.29	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	覧(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	京(単位:千円)		0.00	0.00	
			教職員研修講座参	∳加延べ人数	目標値	<u>i</u>)	単位:人)		6,000.00	5,400.00	5,400.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:人)		5,765.00	5,732.00	
	1					達成度	(%)		96.1	106.1	
<u> </u>		目標値 の積算	教職員2,000人 教職員1,800人	×3回(平成26年度) ×3回(平成27年度~)	単位当た	総事業費	賃(単位:千円)		3.60	3.68	
\smile	① (2)成果指標 目の方 指内 目の 目の方	方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		3.60	3.68	
N 果 垢					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
						達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た				0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
<u> </u>	(1)	活動						目標			
の 3 が 困指		内容						ᄓᅑ			
困措業では		成果						達成			
な示っ	2	内容						状況			
		<u></u>	 	□ 拡充	 ☑ 継続		□ 縮小			————————————————————————————————————	終期の設定
(4)総·	合評		 - 評価の説明	本市の公立学校に通 活を送り、総合的人間 間性を培うとともに、社 上を図ることが強く求る し、取組を進めていくこ 年齢構成がアンバラン 計画的に実施する必要	通うすべての 力を高める との変化 かられてい とが責務・ へことなって	の子どもがるためには るためには に対応す こち。その であるとま	とちが日々のは、公教育に扱るための知識のためには、公 きえます。またいしま、ないしまである。またいかっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっ	学校生活 きわる教 ・技能や い的機関 、経験の 育成等、	 を楽しく過 職員が、児 国際社会 において紀 浅い教職 キャリアス		を得ながら学校生 愛される豊かな人 資質・能力等の向 成システムを構築 ラン層の退職など

所属名	教育センター				
事務事業番号	00924	事業名	教職員研修事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
一	1の代点	出量品			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性	18	b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	10	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(0)	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	ii	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>	
					点
				i	
	公平性				点
(4)	(20点)	0			
			内部管理		 点
			 ①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	122
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		~15>
	(40紀)		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	 点
			る. 足粉的に比較・ガ析しており、事業員の水準は過止である。(3点) ④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	J	不
			(中)行来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	 点
				j o	从
	「点合計 点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名数育センター	事務事業番号 00924		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	妥当性 10 5 0 公平性 効率性	
(3)現状分析	教育行政の組織および運営に関する 教師力・指導力・授業力については 講座に参加し、資質・能力の向上を ど、日々の教育活動に有効活用して	の義務が位置づけられており、地方公共る法律・地方公務員法でも定められていま は即効性を求めることは難しいですが、多の 図るとともに、研修内容を各学校・園に持ています。また、初任者等の経験の浅い教育センターではキャリアステージに応じたる	です。 くの教職員が開設している研修 ち帰り教職員間で共有するな 職員の増加やミドルリーダの育
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		

事務事業名			教育研究大会事業		
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博

	于初于未U/M	N 女														
(1)	事業開始年度	平成20年度			改正	なし										
(2)	直近の改正	なし		Į.	内容	ა გ										
(3)	根拠法令等	吹田市教育も	センターダ	条例												
		☑ 全部		一部(_	上乗せ	、横	出し等あり)		なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	59)
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合はそ	その説明	明			·							
(5)	総合計画の体系	章 4	4 個性	生がひか	る学び	アトス	て化創造の	まちづ	らり		節		1		細節	22
		<u> </u>	<u> </u>		区	分	☑ 内部	管理		建設	———— 战事業	□ その4	 也			:
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	市立幼稚	園・小草	 学校•中	学校	教職員					
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)			○全教職員 ・図る。	が参加	し、教	育の⁴	分日的課題	や吹田市の)重点施第	策について	の学びの	場とし、教職員の資
		結果 (どのような効り	里が得られ	1ろのか)			教育課題 施策が反			対す	る教職員の	見識が深る	まり、結果	として教育	活動の充	実と活性化がなさ
(7)	事業概要 H27事業別	います。	r職員が-	1			=	題や吹	で田市 <i>の</i>			Ī		Τ		教育活動に活かして
(8)	予算コード	会計	1	款	1	0	項	1		目	2	大事業	4	中事業	2	小事業 1
(8)			項目						成26年 014年月					?7年度 5年度)		平成28年度 (2016年度)
							予算(千円)		決算	(千円)	予算(-	千円)	決算見	ک(千円)	予算(千円)
		事業費(A)							315		96				260	
		人件費		員数 ———	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		0.50							<u> </u>	0.50	
		4/3	総額(B) 千円 総事業費(A+B)			円									4,176	<u> </u>
	事業費と		事業質(特定財派					4,2	465 0		4,070		4,431 0		4,436 C	
(9)	財源の内訳			<u>斯(〇)</u> 国					0		0		0			
		内 訳		<u></u> 府					0		0				C	
		<u> </u>	そ(の他					0		0		0		C	0
			市負担	(D)				4,4	465		4,070		4,431		4,436	4,370
		内		方債					0		0		0		C	0
		訳		の他					0		0		0		1 100	
			———— け源計(C	と サ源 マナロン					465 465		4,070 4,070		4,431		4,436	
		☑ 直接		J 1 D)				7,-	+00		4,070		7,401		7,700	4,070
			~~~					(	1							
		□ 委訊	E又はー <del>i</del>	如禾红			委託先	(	2							
	   実施方法		LX14	ᇚᅔᇟ	-			(	3							
(10)	(該ヨ9るもの					主	な委託内									
	(該当するもの   は全部チェック)	_ 1A-	LA #!	<b>7</b>			<del>,.</del>		1							
		▮   □ 補助 ┃ ┃	カ金∙負担	2金			交付先	-	2							
		□ その	)他				 内容		3							
		Ī						1								

事業番号 00925

2 評	Щ 0,	指標等	<del>I</del> 指標項目			項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			研究大会参加者		目標値	(単	·拉()		2,000.00	1,800.00	1,800.00
		指標 内容			実績値	(単	·拉()		1,340.00	1,394.00	
	1					達成度(	%)		67.0	77.	-
		目標値		00人(平成26年度) 00人(平成27年度~)	単位当た	総事業費	(単位:千円)		3.04	3.18	3
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		3.04	3.18	3
活動指標					目標値	<u>(</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	<u>(</u> )	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(	%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			参加者に対する。 回答	アンケートにおける肯定的	目標値	(単	拉位:%)		90.00	100.00	100.00
		指標 内容			実績値	(単	拉:%)		93.00	99.00	)
	1					達成度(	%)		103.3	99.0	
		目標値 の積算	「とても良かった」 せた数	「良かった」の割合を合わ	単位当た	総事業費	(単位:千円)		43.76	44.8	
2 <del>成</del>		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		43.76	44.8	
果指					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(	%)		0.0	0.00	
	目標値 の積算			単位当た			0.00		0.00		
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困 難標	1	活動 内容						目標			
₩ な場合 おす	2	成果 内容						達成 状況			
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	t	□ 縮小	•	_ ,	廃止   □	終期の設定
(4)総	合評	-	評価の説明	教育研究大会は実施 んじることなく、その時 員ではありますが、一覧 を動かす原動力になり 継続すべき事業である	代にあった 堂に会して 、学校・園	こスタイル 市の教育 における	を常に考えな の方向性を <b></b>	がら実施 共有でき <i>。</i>	していま るという機	す。多忙を極め <i>る</i> 後会を持ち続ける	る学校現場の教職 ことが、市の教育

所属名	教育センター				
事務事業番号	00925	事業名	教育研究大会事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性	4.0	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性	4.0	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			内部管理		点
	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0			
			内部管理		点
			内部管理		   点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16			
	21177		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	「点合計 「点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名   教育センター	事務事業番号 00925			
2 各視点からの評価の点数で	がは表れない事項(必要に応じて	(記載)		
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	と略 口 部と	<b>≟</b> して重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	2 1 1 1	妥当性 0 5 0 5 0 3 効率性	
(3)現状分析	市内の公立幼稚園、小・中学校す 重点施策に関するテーマを取り上に ことができています。平成27年度も 創造~」をメインテーマとし、全教職 の理解を深めることができました。 センター行事として分離したため、明 況もあり、時期的な課題については	げることで、今後 「今 吹田から は員がディスレク? 平成25年度から 時間的に余裕を	の吹田の教育が進むべき、 未来(あす)の力を 〜地域 シアに関する講演会を傾聴 は「分科会報告」の部分を もった運営ができています。	方向について共通認識を図る ばに根ざした質の高い公教育の はすることにより、特別支援教育 「教育研究報告会」という教育
4 フの仏/団 広の動力わじ	ᄽᆉᆂᆥᆇᄼᄜᄶᆉᄀᄣᅙᄒᅚ	<b>\</b>		
4 ての他(国・村の町间など、	当該事業に関係する特記事項	)		

事務事業名	校内研修事業								
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博				

	于切于木叶	N <del>女</del>															
(1)	事業開始年度				改正	平成	25年度	数育政策	室の	研修	事業の一部	『を移管					
(2)	直近の改正	平成25年度			内容	1 /2	、 <b>2</b> 0十段 <del>1</del>	<b>МН М М</b>	<u> </u>	- פיו ועי	<u> </u>	ם פויטים					
(3)	根拠法令等	地方公務員沒	去第39第	€、教育	公務員	特例	削法第21条	、吹田市	立教	育セン	ンター条例	J					
		☑ 全部		一部(	上乗せ	、横l	出し等あり)	)		なし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	(b)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は一	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 4	4 個性	生がひた	いる学で	バと文	て化創造のる	まちづくり	J		節		1		細節	22	
		:			区	分	☑ 内部管	 管理		建設	事業	□ その	他			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲	田等 市立小学校·中学校教職員											
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)	教職	 職員の専門性について見識を高め、教職員の資質・指導力向上を図る。											
		結果 (どのような効果	教職	t員σ	)指導力が高	高められ	るとと	こもに、	園児•児童	童・生徒の空	学力(総合	的人間力	)の向上か	「図られる。			
(7) 事業概要 学校内で講師を招聘し研修を行うとともに、様々な専門の講習会・研修会に参加し、教職員の自己教育力高揚と指導力及び資金においます。  (8) H27事業別 会計 1 款 10 項 1 目 2 大事業 4 中事業 3 小事										なび資質の向上を目 小事業 1							
(0)	予算コード	五司	'	<b></b>		0	块	<u> </u>			2	八甲未			J	<u> </u>	
			項	<b>B</b>				平成: (201						7年度 (年度)		平成28年度 (2016年度)	
				•	予算(千円)			決算(	千円)	予算(	千円)	決算見記	込(千円)	予算(千円)			
				1,1			5		945		1,567		1,466	1,253			
		人件費 人件費			\	0.50		0.50		0.50			0.50	0.50			
				頁(B)					,150		3,974		4,176		4,176		
	古光弗し		事業費(			5,265											
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源	^{訳(し)}  国			0										
		内 		<u>当</u> 苻											0	-	
		訳		<u></u> の他				C	)						0	+	
		,	市負担	(D)				5,265	5		4,919		5,743		5,642	5,338	
			地	方債				C	)		0		0		0	0	
		内 訳 		の他				C			0		0		0		
		<u> </u>		財源				5,265			4,919		5,743		5,642		
		□ 直接	<b>才源計(C</b> 	(+D)				5,265	)		4,919		5,743		5,642	5,338	
			大心——		T			1									
				10 T			委託先	2									
	中华十年	┃ □ 委託	E又は一i	部委託				3									
(10)	実施方法				•	主	な委託内容	容									
(10)	(該当するもの は全部チェック)						_	1									
		┃  □ 補助	カ金∙負担	金金			交付先	2									
								3									
		□ その			内容												

事業番号 00926

		)指標等	指標項目		項目		6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			校内研修開催の講師招聘件数×学校職員 数平均値(30)	目標値	(単位:人)		1,590.00	1,620.00	1,620.00	
		指標 内容		実績値	(単位:人)		2,138.00	1,350.00		
	1				達成度(%)		134.5	83.3		
		目標値	53校×1回×30人(平成26年度) 54校×1回×30人(平成27年度~)	単位当た	総事業費(単位:千円)		2.30	4.18		
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		2.30	4.18		
活動指標				目標値	(単位:)	位:)		0.00	0.00	
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
			全小中学校の教職員が参加可能な研修回 数	目標値	(単位:回)		159.00	162.00	162.00	
	1		指標 内容		実績値	(単位:回)		118.00	95.00	
					達成度(%)	74.2		58.6		
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		41.69	59.39		
2 ( 成		方法	54校×3回(平成27年度~)	りコスト	一般財源(単位:千円)	41.69		59.39		
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3 が 困指	1	活動 内容				目標				
難な場合	2	成果 内容				達成 状況				
		4		<ul><li>☑ 継続</li></ul>	□縮小	`	口層	<u>≨</u> ₩ □	 終期の設定	
(4)総	(4)総合評価			とが必要						

所属名	教育センター				
事務事業番号	00926	事業名	校内研修事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性	4.0	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
( - )	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	18			
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			内部管理		点
	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0			
			内部管理		点
				•••••	
			内部管理		 点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18		•••••	
	, <b>/117</b> /		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	 点
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	5点合計 (点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育センター	事務事業番号	00926		
2 各視点	いらの評価の点数でに	 よ表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事終事	業の現状分析				
	の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 10 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
(3)現状分	が が か	りの報償費を支出しています が特徴を生かした教育を展開	す。希望校1校あた 開するための講師	:りの1万円足らずの報償費で を招聘しています。研修会への	、校内研修に講師を招聘するた ですが、この報償費によって各校 の参加負担金は1校あたり7000 「できるような工夫が必要です。
4 その他	1(国・府の動向など、当	á該事業に関係する特記	]事項)		

争耒奋亏   0092/
--------------

事務事業名	教育センター施設管理事業								
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博				

	于初于未UVW	N <del>文</del>																	
(1)	事業開始年度	昭和62年度			改正	<i>h</i> . 1													
(2)	直近の改正	なし			内容	なし	•												
(3)	根拠法令等	吹田市立教育	育センタ	一条例															
		☑ 全部		一部(	上乗せ	· 、横	出し等あり	)			なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	·년)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合は	その説	,明													
(5)	総合計画の体系	章 4	1 個	性がひれ	かる学で	びとさ	文化創造の	まちつ	づくり			節	1		糸	田節	21		
		<u> </u>			区	分	☑ 内部	管理			建設	事業	□ その	也			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範	西等 教育センター													
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	-1. <i>†</i> -1.10	<i>ከተ</i> ለ)	施設	<b>公設</b> 价	 設備の維持管理												
		結果	-0720 4		+/- =:														
			商来 どのような効果が得られるのか)   施設設備の保守・管理が適切にされることによって市民サービスの遂行が円滑に進む																
(7)																			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	10	項	1			1	2	大事業	5	中事業	1	小事業	1	
			項				6年度 年度)					7年度 年度)		平成28 (2016 ^生					
			予算(	千円)	)	汐	<b>· 算</b> (	千円)	予算(	千円)	決算見込	(千円)	予算(=	<b>斤円</b> )					
					7,					8,003	}	7,997		7,629		7,982			
		大件費 職員数				人	,		0.40		0.40			0.40		0.40		0.40	
		NII X	総	額 (B)	千円		3,320		3,179		3,341		3,341		1 3,268				
		総	事業費	(A+B)	)		11,28			11,182			11,338			10,970		11,250	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財				0					0		0		0			
	701 WW 0 2 1 1 1 1 K	<b>内</b>		国			0					+		0		0			
		訳		府						0		0		0		0		0	
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の他					0				11,338		10.070		11.050		
				ュ(ロ) 2方債				- 11	,282			11,182 0		11,330		10,970		11,250 0	
		<u> </u>		の他					0			0		0		0		0	
		訳						11	,282			11,182		11,338		10,970		11,250	
		<u> </u>		(C+D)					,282			11,182		11,338		10,970		11,250	
		□直接		,					,			,		,		,	<u> </u>	,—	
									1	日東	電機	産業㈱ン		 ノ(株)					
			· / L	ゕェ~			委託先	•	2	(株)双	葉化	 学商会 フ	大都保全興	 業(株)					
	<b>+++</b>	☑ 委訊	スはー	一部安託				•	3	ダイイ	 (チサ	ービス(株)	八光海運	(株)					
(40)	実施方法					主	とな委託内	容	清掃	業務	保安	· 警備業務	 务 <del>等</del>						
(10)	(該ヨ9句もの								1										
	は全部チェック)	□ 補助	]金•負	担金			交付先		2										
									3										
		□ その	他				内容												

2 評	Щ 02	)指標等	<del>ɪ</del> 指標項目		項目	平成2 (2014		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			開設時間	目標値	(単位:時間)		1,800.00	1,800.00	2,076.00
		指標 内容		実績値	績値 (単位:時間)		2,228.00	2,220.00	
	1	. , 1			達成度(%)	123.8		123.3	
$\sim$		目標値	(平日)+(木曜夜間)+(第三日曜・電話相 談のみ)(8時間×5日×45週)+(4時間×	(単位当た	総事業費(単位:千円)		5.02	4.94	
1		の積算 方法	45週)+(8時間×1日×12回)	りコスト	一般財源(単位:千円)		5.02	4.94	
活動指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			延べ利用人数	目標値	(単位:人)		3,600.00	3,600.00	3,600.00
		指標 内容		実績値	(単位:人)		3,240.00	3,497.00	
	1				達成度(%)		90.0	97.1	
		目標値 の積算	4人×4室×5日×45週	単位当た	総事業費(単位:千円)		3.45	3.14	
2     成		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		3.45	3.14	
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困 難標	1	活動 内容				目標			
₩ は 場で 場合 は は	2	成果 内容				達成 状況			
		4	今後の方向性 (実施計画) □ <b>拡充</b>	☑ 継続	□縮小	•	<u>}</u>	<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総·	(4)総合評価		当施設・設備の老朽		  震等も含めた改修・改   効に利用できる施設と				

所属名	教育センター				
事務事業番号	00927	事業名	教育センター施設管理事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> 5の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
μι <u>μ</u>		и трити	1役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
(1) 妥当性 (20点			①投制力担の観点から見て、中の関子のあり力は適切ですか。   a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)		
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		点
	<b>—</b> la		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	   点
	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	   点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	   点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		7111
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	   点
		14	②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	有効性 (20点)		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	   点
(2)			③事業は目標どおりに進捗していますか。		_ /T
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	   点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u>.</u>	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	 5	
			a. 日標以工又は日標とありの具体的な成果を工りている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。	5	点
			①早位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		点
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	
(3)	効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		点
	(20)11()		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	 5	<u></u>
			a. 他の事業・敬福と連携して、事業の効率化を図っている。(3点)   ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		点
			世) 事業于法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	 
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>	点
	公平性 (20点)	0	内部管理		 点
			内部管理		
(4)					点
			③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		
			公の日生   ④公平性を確保するための取組みをしていますか。		点
			内部管理		 
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		点
				 5	 点
	持続可 能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			②フ後、対象有の増加寺で事業員や川貝担が増入する順門にめりませんが。   a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	 5	
(5)					点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	E	 
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。  ト 現在の事業のを以去る。一字の事業効果は得られるが、見違しにより、さらに効果的な事業にできる会地がある。(2点)		<u> </u>
	b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)			3	点
	「点合計 点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 教育センター	事務事業番号 00927							
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	て記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他					
(2)各視点からの評価結果	安当性 20 15 10 5 有効性 公平性							
(3)現状分析	している。そのため、教育センターで ています。 男女共同参画センターとの複合が や、平成26年4月から男女共同参画 の部屋を確保することが困難な状況 期間を中心として教職員研修の会認	等、教育センター事業の重要な拠点になっての事業実施に伴う市民の施設利用頻度やまで設という立地上、共有している一部の部屋面センターが月曜日開館していることから、記があります。市民の使用率向上を優先し場確保が困難になっています。このような思いますが、多人数を収容できる施設が少ないとなっています。	ニーズ、費用対効果は高くなっ とで市民に貸し出していること 教職員研修や各種会議のため ていることから、特に夏季休業 里由から他施設を借用しなけれ					
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)								

事務事業名		学	や校教育情報通信ネットワーク構築事業		
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博

	1 100 1 010 00																	
(1)	事業開始年度	平成15年度			改正	4-1												
(2)	直近の改正	なし			内容	なし	•											
(3)	根拠法令等	吹田市立教育	市立教育センター条例															
		☑ 全部		一部	(上乗せ	大横	出し等あり)	)	[	コ な	まし (	国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施	する義務あ	(J)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合に	はその説	明												
(5)	総合計画の体系	章 4	1 個	性がひ	かる学で	びとな	上 文化創造の	まちづ	くり		í	·····································		1		細節	1	6
					×	分	☑ 内部管	 管理			建設事	**	□ その	 他			<u> </u>	
		対象 (誰を、何を)			範[	囲等	吹田市立小	小・中学	<u></u> 学校お	ふよび	·····································	センター	-		<u> </u>			
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	つか)		ア田市立小・中学校コンピュータ教室PC、教育用PC及び校内LAN等コンピュータネットワークを整備管理するとともに小・中学校図書室ネットワークを整備・管理する。											 情管理す	
		結果 (どのような効果	結果 吹田市立小・中学校の教育の情報化を推進するとともに、学習指導要領に位置づけられた学習指導を充実さ (どのような効果が得られるのか) せ、子どもたちの情報活用能力の育成と新たなICT活用による生涯学習への発展が図れる。															
(7)	事業概要	小中学生の 備を進めてい 知連絡システ 情報化、調べ ます。	ます。ī ムを構	市役所 築して	学校教育います。	育部!	こLAN回線 、小中学校	を導入 におけ	、し、 <u>=</u> る図	学校教 書館	教育ネ システ	マットワー エム、並で	-クにアクセ びに情報通	スできる。 信ネットワ	ようにする フークの割	ることで、教 を備を進める	育指導に係ることにより	わる通 校務の
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	<b>ኢ</b> 1	0	項	1		目		2	大事業	6	中事業	1	小事業	1
	1 27 1	:	項	<del>一</del> 目	<u> </u>		<u> </u>		或26 ⁴ )14年						7年度 5年度)	<u> </u>	平成2 (2016	
							予算(=	千円)		決	算(千	円)	予算(	千円)	決算見	.込(千円)	予算(	千円)
					18		61			18,758	22,172			21,935		23,801		
		職員数 人件費			人			0.70		0.70			0.70		0.70		0.30	
		NII X	総	額(B)	千	円		5,8	.810 5,563			5,563	5,847		5,847		· ·	
			事業費		3)			24,5	571 24,321					28,019		27,782	26,252	
(9)	事業費と 財源の内訳	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	特定財					0			0		0		0		0	
		内		国 —— 府				0			0		0		0		0	
		訳		- ^{ハŋ} -の他					0					0		0		0
			<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>					24,5				24,321				27,782		26,252
				 .方債				,	0			0		0		0		0
		内 訳	そ	· の他					0			0		0		0		0
			<b>—</b> я					24,5	71			24,321		28,019		27,782		26,252
		具	才源計(	C+D)	)			24,5	571			24,321		28,019		27,782		26,252
		□ 直接																
								_	_	士通	(株)	関西支	社					
		┃	とスは一	-部委訓	£		委託先			株) 内	7田洋	行 大阪	反支店					
	実施方法						· · · · · · · · ·		3	<b></b> 141/	4 00			TIII 64				
(10)	(該当するもの					<u> </u>	Eな委託内容		<del>- 1</del>	有機	卷卷、2	<b>ドットワー</b>	ーク保守管	埋等				
	は全部チェック)	┌╴┾╩┖┤	¬◆ - ♣ +	旧今			六八十		1)									
		□ 補助	」並『貝1	ഥ효			交付先		2 3									
		□ その	他						<u>v                                      </u>									

2 評 [·]	<u>ри</u>	指標等	指標項目		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			学校教育情報通信ネットワークの整備状況	目標値	(単	位:箇所)		54.00	55.00	55.00
		指標 内容		実績値	(単	位:箇所)		54.00	55.00	
	1				達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値 の積算	<小学校数+中学校数+教育センター> 35校+18校+1施設(平成26年度)	単位当た	総事業費	(単位:千円)		450.39	505.13	
1 ~		の積算 方法	36校+18校+1施設(平成27年度~)	りコスト	一般財源	(単位:千円)		450.39	505.13	
活動指標				目標値 (単位:)		単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			学校教育情報通信ネットワークの学習活動 等での利活用状況	目標値	(単	位:箇所)		54.00	55.00	55.00
		指標 内容		実績値	(単	位:箇所)		54.00	55.00	
	1				達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値 の積算	<小学校数+中学校数+教育センター> 35校+18校+1施設(平成26年度)	単位当た	総事業費	(単位:千円)		450.39	505.13	
2 		方法	36校+18校+1施設(平成27年度~)	りコスト	一般財源	(単位:千円)		450.39	505.13	
成果指標				目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00		
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
		活動								
の3が、	1	内容					目標			
困指難標なる										
な示合す	2	成果 内容					達成 状況			
			<b>~※のナウ性</b>							
			(美施計画) (美施計画)	□ 継続		□縮小				終期の設定
(4)総・	4)総合評価		今後は教員の児童・生進め、校務の情報化に動の展開に向け、ネット度にシステム更新時期構築計画を立てる必要評価の説明	よる効率 ワークシ を迎える。	改善を図っ ステムの ことから、	る必要がある 再構築を検討	ことや、 [‡] する必要	学習用タブ 見がありま	レット等を活用し す。再構築につい	た新たな教育活 いては平成29年

所属名	教育センター				
事務事業番号	00928	事業名	学校教育情報通信ネットワーク構築事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
1111	100 DENIC	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	
	<b>—</b>		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	     点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	     点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	     点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iii
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	   点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の日間と支 <del>監</del> 省は光主に 或じている。(3 <u>M</u> )  ③事業は目標どおりに進捗していますか。	J	<i></i>
				5	
				5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	E	
				5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第五でする。(5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(= · /III/		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	0	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 	0	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		<u> </u>
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。   <del>- ***********************************</del>		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		点
	(20/1117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理   のの下がもなってよるようでは、1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が1000円が10000円が1000円が10000円が1000円が10000円が10000円が1000円が1000円が1000円が1000円が10000円が1000円が10000円が1000円が1000円が10000		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点) 	5	点
	++ <b>/</b> + <del></del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	<u> </u>	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育センター	事務事業番号	00928	
2 各視点	なからの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

#### 3 事務事業の現状分析

3 争扬争未以犹认为初 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 有効性 公平性 効率性	
(3)現状分析	ワーク等、教育センター及び小中学校 た、各小・中学校においては教室には ブレットパソコンを活用した双方向・協 センターサーバの一部の機器である	室のインターネット環境や、校内LAN配約 交の学校教育情報通信ネットワークについ らけるネットワーク環境を利用し、平成26 弱働的な学習等を実践しています。 るプロキシサーバについては、平成28年 近年中に更新の時期を迎えているため、平	ヽては整備できています。ま 年度に小・中学校に導入したタ 度当初に終了するため、更新

### 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

国の施策である第2期教育振興基本計画の基本施策25に、教育環境の整備について、記述があります。 「教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数3.6人(※)、教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の席日、超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%、校務用コンピュータ教員1人1台の整備を目指すとともに、地方公共団体に対し、教育クラウドの導入やICT支援 員・学校CIOの配置を促す。

※各学校に、①コンピュータ教室40台、②各普通教室1台、特別教室6台、設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台を整備することを目 標として算出。」

事務事業名			教育課題調査・研究推進事業		
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博

•	1 122 1 214 00 10																					
(1)	事業開始年度	昭和32年度			改正	「教 [·]	育課題の詞	調査研	究事	業」	支び「	教育資料	<b>斗の</b> り	収集事業	€」を統合し	し、本事	事業!	に再構築				
(2)	直近の改正	平成22年度			内容	_	25年度。									- , ,						
(3)	根拠法令等	教育センター	条例																			
		☑ 全部		一部	(上乗せ	·、横	出し等あり	J)			なし	(国∙府ᠻ	制度	きもしくは:	法令等で	市が実	施す	る義務な	あり)			
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックしたコ	場合は	その説	明																
(5)	総合計画の体系	章 4	個性	生がひ	かる学び	バとメ	文化創造のまちづくり					節			細節				22			
					区	分	☑ 内部	 管理			建設	 :事業		こその作								
		対象 (誰を、何を)			——— 範囲	囲等	市立幼稚	園•小:	 学校•	中等	学校教	数員及び	 各種	 [教育研]	究団体							
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	にたいの	か)			ーー 員による研究グループを編制するとともに各種教育研究団体に助成することで、最新の教育情報や教育 等を幅広く収集・活用し、教育に関する専門的、今日的教育課題等の調査・研究を行う。															
		結果 (どのような効果	見が得られ	こるのか	の標	青報を	レープの研 と積極的に		-													
(7)	事業概要	市立小学校 団体に助成を に関する専門 研究報告での ます。	行うこと  的、今日	で活動 日的課	かを活性 題等の記	化し 調査	ています。 •研究活動	また、 を行っ	最新のている	の教 ます	育情 。ま/	報や教育 た、学校教	育資料 教育	料、市外 情報教育	での教育	実践 <i>0</i> 小ワー	)報台 クで	告資料等 の配信、	を収集 研究網	<b>€•活用</b> 紀要発 ²	lし、教 行、教	育育
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	0	項	1		E	1	2	J	大事業	7	中事	業	1	小	事業	1	
	1 <del>21</del> 1	<u>:</u>	項	<del>'</del> 目	<u> </u>				· 成26: 2014年			<u> </u>		<u>E</u>		7年度 (7年度)				平成28 (2016年		
							予算(	千円)	円) 決算(千円			千円)		予算(:	千円)	決算	 見;	込(千円)		予算(=	千円)	
			(A)			2,38			2,131		1		2,389			2,05	8		2,4	57		
		一 職員数 人件費			ι .	1.70		1.70	1.70		0	1.70				1.7	0		1.	70		
		八门兵	頁 (B)	千	円	] 14,		14,110		13,510		0		14,199			14,19	9		13,88	89	
			事業費(		)		16,492					15,64	1	16,588			16,257			7 16,34		46
(9)	事業費と 財源の内訳	1	特定財派 ———						0					+						) (		0
	7.3 (f/3) - V 1 3 H/	内 ——		国					0				0	0			0					0
		訳		府 の他					0													0
			市負担					16	,492			15,64			16,588			16,25	+		16,3	
		~		<u>` ̄´</u> 方債				,	0			•	0							, .	0	
		内 訳	そ(	の他					0			(	0		0			(	0			0
		∴ ————————————————————————————————————	一般	財源				16,	,492			15,64	1		16,588	16,257 16				16,3	46	
		則	才源計(C	C+D)				16,	,492			15,64	1		16,588			16,25	7		16,3	46
		☑ 直接	実施			1																
	実施方法	□ 委託	:又は一·	部委託		-	委託先	_	① ② ③													
(10)	(該当するもの					土	とな委託内		1)													
	は全部チェック)	□ 補助	全•負址	3全			交付先	_	2													
		山 作成的	业、只让	<u> </u>			人门兀	H	3													
			他				内容		<u> </u>													

2 評	<u> </u>	指標等	指標項目		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			研究グループ研究員数	目標値	(単位	立:人)		54.00	54.00	48.00
		指標 内容		実績値 (単位:人)				59.00	63.00	
	1				達成度(%)	)		109.3	116.7	
		目標値 の積算	10人×グループ数+4人×11グループ(小中一貫)<~平成27年度>	単位当た	総事業費(	単位:千円)		265.10	258.05	
1 ~		の積算 方法	8人×6グループ<平成28年度~>	りコスト	一般財源(	単位:千円)		265.10	258.05	
活動指標				目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
相 標 		指標 内容		実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)	)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(	単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源(	単位:千円)		0.00	0.00	
			研究グループ活動回数	目標値	(単位	立:回)		65.00	65.00	30.00
		指標 内容		実績値	(単位	立:回)		64.00	106.00	
	1							98.5	163.1	
_		目標値 の積算	(研究グループ数×5回) 13グループ×5回<~平成27年度>	単位当た	総事業費(	単位:千円)	244.39		153.37	
2		の積昇 方法	6グループ×5回<平成28年度~>	りコスト	一般財源(	単位:千円)		244.39	153.37	
成果指標				目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0		0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(	単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源(	単位:千円)	0.00		0.00	
		ソフェレ		•						
の3 が〜	1	活動 内容					目標			
困指 難標										
な示合す	2	成果 内容					達成 状況			
合す		P)合					1/1/1/1			
		4	今後の方向性 □ <b>拡充</b> □ <b>拡充</b> □	☑ <b>継</b> 続	ŧ	□ 縮小	`		<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総1	4)総合評価		教育ビジョン等に示す 積極的に発信していくこ 時代を力強く生き抜く子 は欠かせないものであ 評価の説明	ことにより、こともたち	、学校の教 [®] を育むこと	育活動の充 が求められて	実・活性 ています。	化を図るこ	ことを継続的に進	め、変化の激しい

所属名	教育センター				
事務事業番号	00929	事業名	教育課題調査・研究推進事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> 5の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
古十四	山の代点	<b>元皿</b> 行			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		<u> </u>
(1)	妥当性 (20点)	14	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
	(20)//()		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性 (20点)	16	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。 		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
		18	a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(0)			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	0	内部管理		点
(4)	(20点)	_	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	••••••	
( <b>-</b> )	持続可	40	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
———— 評価	 5点合計	22	← ※自動計算します。		
	点満点)	82	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名数育センター	事務事業番号 00929		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	▽ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	要当性 20 15 10 5 有効性 公平性 効率性	
(3)現状分析	質・能力の向上を図り、学校・園が今教育課題を研究テーマに据えて研究育、校内研修活性化や不登校対応で成果を研究報告書(研究紀要)にまる載したりすることで学校現場への情報	るためには、最新の教育情報をいち早くは 日的教育課題への対応を継続的に行って です。また、各種教育研究団体に助成を行 とめたり、教育研究報告会での発表や教育 報発信をしています。市外、他地域の先進 SATSUKIネットの「知恵の泉」を通じて、	ていくことが重要です。今日的 ICT活用、英語教育、道徳教 ううことで活動を活性化し、研究 育センターのホームページへ掲 的な取組や教育情報、教育資
<b>4 その他(国. 広の動向かじ</b>	出該車業に関係する性司車で)		
4 てい他(国・)所の割りなど、	当該事業に関係する特記事項)		

事務事業名	研究学校事業									
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博					

	1 100 1 014 0 10	<del>700</del>																
(1)	事業開始年度	平成13年度		J	平成24年度指導課から移管													
(2)	直近の改正	平成24年			改正 内容	半月	以24年度指	得器から	○移官									
(3)	根拠法令等	教育センタージ	条例	<b>长</b> 例														
		☑ 全部		一部(	上乗せ	せ、横出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)												
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックしたは	場合は	その説	明												,
(5)	総合計画の体系	章 4	個性	生がひれ	かる学で	ゾとブ	文化創造の	まちづくり	J		節		1		細節		22	
		:	l		区	区分 ☑ 内部管理				建設	 }事業	□ その	 他				:	
		対象 (誰を、何を)			範囲	<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>												
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいの	か)			L 中学校が、 学校全体の				 た特色ある	———— ∌教育課程 [∙]	や学力向_	上等の研	T究課題	を設	 定し、研究を	 ·推進す
		<b>結果</b> (どのような効果	い得られ	しるのか			教員の資質の れる。	と指導力	の改	善とと	さもに、研究	兄成果を広ぐ	(発信する	ことで、	市立小・	中学	!校全体の教	 [育力向
(7)	事業概要	児童・生徒の学力向上を図るため、 (1)道徳の時間の授業づくりを軸とした道徳教育 (2)ICTを活用した授業づくり (3)言語活動を意識した授業づくり (4)その他(教育ビジョンや指導項目・重点項目の達成に向けた実践) の4点のいずれかの研究課題を設定した学校に研究を委嘱することで、教員の資質や学校体制のあり方を改善するとともに外に発信することで吹田市内全体の教育力の向上を図っています。								に、研究成	果を校							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	0	項	1		目	2	大事業	7	中事第	€ 2	)	小事業	1
		項目					平成26年度 (2014年度)						· ?7年度 5年度)	·		平成28: (2016年		
							予算(千円)			決算(千円)		予算(	千円)	決算	見込(千F	円)	予算(千円)	
		事業費(A)						600			600		600			530		610
		┃		員数		λ		0.40			0.40		0.40			0.40		0.40
				頁(B)	千円		3,320			3,179		3,341			3	,341		3,268
	<del></del>		事業費(		)		3,920				3,779				3,871			
(9)	事業費と 財源の内訳	<b>十</b>	特定財源					C		0			0				-	
		内		国 ——— 苻			0				0	+						
		訳		···· の他			0				0							
		!	市負担					3,920	)			3,941		3,871				
			地 7	 方債				C		0		0		0				
		内	その	の他				C	)		0		0			0	0	
		<u> </u>	一般	財源				3,920		3,779 3,94		3,941	1 3,871		3,878			
			∤源計(C	)+D)				3,920	)		3,779		3,941		3	,871		3,878
		☑ 直接	実施			I			1									
	実施方法	□ 委託	□ 委託又は一部委託				委託先 ② ③											
(10)	(該当するもの					É	とな委託内容 		1									
	は全部チェック)	┌── <del>──────────────────────────────────</del>	ᄼᆇᆤ	1 <b>A</b>			六八十	1										
		□ 補助	並 " 貝担	<u>1</u> 並			交付先	3										
		□ その他					内容		1									

事業番号

00930

指標項目				項目		平成26 (2014 <i>年</i>		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			委嘱研究学校に	指定した校数	目標値	(道	单位∶校)		5.00	5.00	5.00
		指標 内容			実績値	(単	单位∶校)		5.00	7.00	
	1					達成度	(%)		100.0	140.0	
		目標値		:小中学校の1割程度		総事業費	(単位:千円)		755.80	553.00	
1		の積算 方法			単位当たりコスト	一般財源	(単位:千円)		755.80	553.00	
活動指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			委嘱研究学校の	年間公開授業回数	目標値	(肖	<b>Ú位</b> :回)		15.00	15.00	20.00
		指標 内容			実績値	(肖	≦位:回)		13.00	19.00	
	1					達成度	(%)		86.7	126.7	
		目標値 の積算		学期(3学期)	単位当た	総事業費	(単位:千円)		290.69	203.74	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源	i(単位:千円)		290.69	203.74	
成果指標					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	2						(%)	0.0		0.0	
		目標値 の積算			単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
		方法					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 困 難 種	1	活動内容						目標			
2 困難な場合	2	成果内容						達成 状況			
		,	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ī	□ 縮小	`		廃止 □	終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	学校が積極的に教 今日的な教育課題 を推進するためにか 信をいかに全小・中	を敏感にキャ アかせない事	ッチして対 業ですが	対応していくこ。 、さらに事業の	とが必要で D効果を上	ごす。本語 .げるたる	事業は、学校自ら めには委嘱校によ	が取り組む研究

所属名	教育センター				
事務事業番号	100930	事業名	研究学校事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> </u>	100 100 1111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	     点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
	—: .i.e lei		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	     点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	     点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	<b>3</b>	     点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iii
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	   点
(2)	有効性 (20点)	16	3事業は目標どおりに進捗していますか。		<i></i>
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	 5	
			a. 日標を工画る文は日標とおりの進捗状況である。(5点)   ④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点
					<u></u>
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点 
			①単位当たりコストは適正ですか。 ト 単位光はリコストは振り第三でするが、北美の合地がある。(2.5)		
		12	b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	I	点
	(==71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ロガケ環		<u> </u>
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。 		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20/1117)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	1+ v+ <del></del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名数育センター	事務事業番号 00930		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	▽ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	要当性 20 10 5 有効性 公平性	
(3)現状分析	主研究に取組む小・中学校を支援す 平成27年度には (1)吹田第三小学校(言語活動)(2 (4)南千里中学校(道徳教育)(5)南L (7)豊津西中学校の7校に教育ビジ	かれた特色ある学校づくりや児童・生徒の「るものです。 )佐竹台小学校(言語活動)(3)山田中学 山田小学校(言語活動)(6)千里みらい夢 ヨン、指導項目・重点項目の達成に向けた 委嘱校」として研究成果の発信を行うことと	☆校(ICT活用) 学園 全実践等の視点による研究を委
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		

事務事業名			<b>校等支援者ボランティアネットワーク事業</b>		
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博

	于加于木叶	N <del>女</del>														
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	ᄑᆏ	24年度指導認	里からま	タ告され	ス						
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	一灰	,27千汉旧守成	木が・ジャ	<b>УБС</b> 1							
(3)	根拠法令等	吹田市立教育	育センタ-	一条例												
		☑ 全部		一部(	上乗せ	、横占	出し等あり)		ロな	」(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	<b>り</b> )	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は [.]	その説明	明										
(5)	総合計画の体系	章 4	4 個性	生がひた	かる学ひ	ドと文	化創造のまち	づくり		節		1		細節	30	
			<u> </u>		区分	分	□ 内部管理			 設事業	☑ そのイ	<del></del> 也				
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	市立幼稚園・小	\学校	• 中学核	5			l			
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	学校		のニーズに応じ	た人材	オを派遣	遣し、教育活	動の充実を	図るととも	もに、市全化	体で教育を		
		結果 (どのような効り	甲 が得こと	ころか	、開か	れた	:学校・園づくり	の推進	重が実現	し、学校・園	園の教育目	票が達成る	される。			
(7)		動、図書活動	カ、授業∙	保育の	支援等	、学村	識を有する人 	に応じ	た人材	を登録者の	中から派遣	し、学校・	ランティア? ·園が有効:	を募り、体活用を図っ	験学習やクラ っています。ま	ブ活 :た、活
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	0	項	1	目	2	大事業	8	中事業	1	小事業	1
			項	目				平成26 (2014 <i>4</i>					27年度 5年度)		平成28年 (2016年)	
							予算(千円	)	決算	工(千円)	予算(	千円)	決算見過	入(千円)	予算(千	円)
			事業費					300		191		194		187		194
		人件費		員数 	<u>ا</u>			0.20		0.20		0.20		0.20		0.20
		<i>t</i> ın		頁(B) / • · · · ·	千	円		1,660		1,590		1,671		1,671		1,634
	事業費と		事業費(		)			1,960		1,781		1,865		1,858		1,828
(9)	財源の内訳		特定財派	^{訳(し)} ――― 国				0		0		0		0		0
		内		<u>=</u> 府				0		0		0	1	0		0
		訳		<u></u> の他				0		0		0		0		0
			市負担	(D)				1,960		1,780		1,865		1,858		1,828
		$\widehat{}$	地	 方債				0		0		0		0		0
		内 訳 	そ(	の他				0		0		0		0		0
		· ·	一般	財源				1,960		1,780		1,865		1,858		1,828
		具	け源計(C	C+D)				1,960		1,780		1,865		1,858		1,828
		☑ 直接	実施		1											
							エデル	1								
		□ 委訊	E又は一	部委託			委託先	2								
	実施方法						 な委託内容	3								
(10)	(該当するもの					工	. み女癿(7)台	1								
	は全部チェック)	□ 補別	カ金∙負担	金田			交付先	2								
				<del></del>			1170	3								
		□ その	)他				内容									

事業番号 00931

2 評	<u>, ~ /</u>	指標等	指標項目	]		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			学校教育支援者	登録数	目標値	<u>i</u> )	単位:人)		1,475.00	1,500.00	1,500.00
		指標 内容			実績値	<u>(i</u>	単位:人)		1,173.00	1,051.00	
	1	.,,,				達成度	£(%)		79.5	70.1	
		目標値 の積算	25人×小中学校 録25×53+5×	:+5人×幼稚園+直接登 16+70 <h26年></h26年>	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		1.52	1.77	
1		の積算 方法		6+70 <h27年<b>~&gt;</h27年<b>	りコスト	一般財派	原(単位:千円)		1.52	1.77	
活動指標					目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			学校教育支援者	活用延べ回数	目標値	<u>(i</u> )	単位:回)		10,325.00	10,500.00	10,500.00
		指標 内容			実績値	<u>(</u> )	単位:回)		11,067.00	10,322.00	
	1					達成度	(%)		107.2	98.3	
		目標値	(1, 475人)×(7		単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.16	0.18	
2 		の積算 方法	(1, 500人) × (7	7回) <h27年~></h27年~>	りコスト	一般財派	原(単位:千円)		0.16	0.18	
成果指標					目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	:(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財派	原(単位:千円)		0.00	0.00	
のが困難な場合(3)指標で示す	1 2	活内 成内						目標 達成 状況			
		4	       後の方向性	□拡充	<b>継続</b>	<u> </u>	□縮小	\		<u></u>	終期の設定
(4)総	合評	価	(実施計画) 評価の説明	現在では、地域ボラン加してきており、多くの、ボランティアは、今や学材であるボランティアの	/ティアだ! 人材が確 [.] 校・園にま	ナでなく、 保でき、行 おいて欠る	 近隣の大学か     上海のよりでは   ない人材	いらの授業 い場かい となってる	    美の一環と               こっぱに		ア申し込みも増 なってきました。 育現場と支援人

所属名	教育センター				
事務事業番号	00931	事業名	学校等支援者ボランティアネットワーク事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та	リンガ派	一一川川	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	5	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3	
			○社会状況の変化や時間の性過に件が、事業の実施思義が得がていると70万。 	5	 点
			4  スル思報はする頃とである。(3M/)   4  利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	<u> </u>	<i>m</i>
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	14	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				3	 点
			0. 日禄と「日る進歩れんである。(3点)   4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	3	
			せいしてに記りてきる共体的な成果を上げている。 	3	 点
			①単位当たりコストは適正ですか。	3	
			・	5	 点
			a. 中世当たりコストは過止である。(0M/)   2迅速なサービスの提供に努めていますか。	<u> </u>	
	-1.1 - <del>1.</del> 1.1		と)	3	   点
(3)	効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	<u> </u>	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	 点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	     点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>	7111
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	 点
			②サービスの水準は適正ですか。		711
	Λ\ <del>\</del> \ \ \ <del>\</del> \ \ \ \		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	 点
(4)	公平性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	 点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	 点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	<b>,</b>
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	<u></u>	
	(=0/M)		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u></u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	 点
		82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	<u>:</u>	
\ 100	杰严派/		(F) HP ロ・エテッかい A F Iエマル		

所属名	教育センター	事務事業番号	00931		
2 各視点	からの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)	_	
	の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組		として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 10 5 0 効率性	
(3)現状分	析	保護者・学生等からの支援を すが多く入ってきており、これ ①子どもと社会とのふれあ ②体験的な活動によって、 ③総合的な学習の時間の〕 チャーを招くことで子ども	を受けています。現状にら外部人材が入るこいの場が増えるいの場が増えるより効果的な学習効果 取組をはじめとした教 ままでは登録者に対	ではボランティア、授業として との効果としては 果が得られる。 育活動において、様々な分質 が高まる	国運営を行うために、地域団体・この実習活動等、外部からの人野のゲストティー域のボランティア人材が安心し
4 その他	(国・府の動向など、当	当該事業に関係する特証	3事項)		

事務事業名			小学校情報教育機器整備事業		
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博

<u> </u>	于初于未U/M	N <del>文</del>													
(1)	事業開始年度	不明			改正	<i>+</i> ~1									
(2)	直近の改正	なし			内容	なし									
(3)	根拠法令等	学校教育法	小学校	設置基	準 第3	三次	教育振興基本	:計画「	火田市	ī情報化推進 <b></b>	計画アクショ	コンプラン			
		☑ 全部		一部(	上乗せ	·、横	出し等あり)		□ 7	なし (国・府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	⁻ る義務あ	<b>(</b> J)
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は [.]	その説	明									
(5)	総合計画の体系	章 4	4 個性	生がひた	かる学で	ゾとブ	文化創造のまた	ちづくり		節		1		細節	21
					区	分	☑ 内部管理	里		建設事業	□ その・	他			<u>i</u>
		対象 (誰を、何を)			範囲	囲等	市立小学校	(36校	)						
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	パソ	/コン	教室等に情報	数育用	の機	器、学校図書	館に図書シ	ステムに	要する機器	を賃借・割	整備する。
		結果 (どのような効り	■が得ら♪	ころかい	学習	誯指導	<b>鼻及び学校図</b>	書館運	営の充	连実					
(7)	事業概要 H27事業別	運営に必要な		器(図書	書室にま	おける	る図書の管理 	•貸し出 	し等 <i>0</i>	つシステム機器	器)等を、学 	校に向け [・]	て賃借によ 		I i
(8)	予算コード	会計	1	款	1	0	項	2	目	1	大事業	8	中事業	1	小事業 1
			項	目				平成20 (2014:					?7年度 5年度)		平成28年度 (2016年度)
							予算(千F	円)	決	算(千円)	予算(	千円)	決算見過	以(千円)	予算(千円)
			事業費	(A)			1.	59,773		157,898	3	148,605		147,943	152,763
		人件費	職	員数		<b>\</b>		0.50		0.50		0.50		0.50	0.50
				頁(B)		·円		4,150		3,974		4,176		4,176	
	古光曲し		事業費(				1	63,923		161,872		152,781		152,119	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財派	R ( <i>C )</i>  国				0		(		0		0	-
		<b>内</b>		<u>当</u> 府				0		(		0		0	
		訳		<del>::</del> の他				0		(		0		0	
			市負担	(D)			10	63,923		161,872	2	152,781		152,119	156,848
			地	方債				0		(	)	0		0	0
		内 訳 		の他				0		(	)	0		0	0
		<u> </u>		財源				63,923		161,872		152,781		152,119	
			け源計(€ *宝歩	3+D)			1	63,923		161,872	2	152,781		152,119	156,848
		☑ 直接	天心					1							
							委託先	2							
	<b>9</b>	□ 委託	E又は一·	部委託				3							
(10)	実施方法		_		_	È	とな委託内容					-			
(10)	(該当するものは全部チェック)							1							
		□ 補助	カ金・負担	金金			交付先	2							
								3							
		□ その	他				内容								

			指標項目		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			情報教育用(児童の学習用)機器の賃借整 備	目標値	<u>i</u> )	単位:校)		35.00	36.00	36.00
		指標 内容		実績値	<u>i</u> )	<b>単位∶校</b> )		35.00	36.00	
	1				達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値	情報教育用(児童の学習用)機器を整備する学校数(小学校36校)	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		4,624.91	4,225.53	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		4,624.91	4,225.53	
活動指標			図書システム用機器の賃借整備	目標値	<u>i</u> )	単位:室)		35.00	36.00	36.00
標		指標 内容		実績値	<u>i</u> )	<b>単位:室</b> )		35.00	36.00	
	2				達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値	図書システム用機器を整備する学校数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		4,624.91	4,225.53	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		4,624.91	4,225.53	
				目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	1				達成度	(%)		0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算		単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
$\smile$		方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標				目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	隻(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
へ の3 が <b>大</b> ち	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容	整備した機器を使用目的に沿って教育活動	の中で利温	5用している	る小学校数	達成 状況	全36小学れている。		書館管理に利活用さ
	-	4	今後の方向性 (実施計画) ☑ <b>拡充</b>	□ 継続		□縮小	<b>\</b>	_ J		終期の設定
(4)総	合評	-	多くの冊数を管理するり、これらの機器の付書室を配置している小室は未整備となってい室への端末配備が喫り用する校務用パソコン	呆守・整備 学校におい ます。低学 緊の課題と	を継続すいては、高 いては、高 年図書3 なってい	る必要があり 高学年図書室 室での貸出し ます。また、全	ます。した だけにシ き理等が き後は児	かしながら ステム機 困難な学 童に向き	、高学年用と低き 器が整備されては 校も少なくないた 合う時間を確保す	学年用の2つの図 3り、低学年図書 め、低学年図書 るため、教員が使

	教育センター				
事務事業番号	00932	事業名	小学校情報教育機器整備事業	事業区分	内部管理

評価	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
4 \	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	i	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
<b>0</b> )	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	1	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	······································	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	·	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	i	
<b>0</b> )	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
3)	(20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	i	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	······································	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
4)	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	······································	
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	-	
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
_\	持続可	10	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	I	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	······	··············
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

#### 3 事務事業の現状分析

| 所屋名 | 数育センター

3 争扬争未仍犹然为例 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	上や、保健衛生上、あるいは安全上がら、本事業を継続して実施する必 校務用(教員用)は機器整備が進んで まっています。校務の情報化が進んで にあり、学習指導用の教材作成・教材性・有効性に課題があります。また、	だは、学校設置者に学校を管理し、学校の必要となる校具・教具を備え、常に改善しる要があります。また、教育用(児童用)Pでおらず、配備率30%という全国的に見ているなかで、吹田市ではネットワークの才準備、成績処理をはじめとした校務・教育が学校においては平成26年度図書標準いら、低学年図書室にも端末を配して充分	、補充する義務を課しているこ Cの整備はなされていますが、 ても極めて低いレベルにとど 利活用が十分にできない状況 材作成の遂行に関して効率 冊数100%達成ということで

### 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

国の施策である第2期教育振興基本計画の基本施策25に、教育環境の整備について、以下の記述があります。 「教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数3.6人(※)、教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の席日、超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%、校務用コンピュータ教員1人1台の整備を目指すとともに、地方公共団体に対し、教育クラウドの導入やICT支援 員・学校CIOの配置を促す。

※各学校に、①コンピュータ教室40台、②各普通教室1台、特別教室6台、設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台を整備することを目 標として算出。」

事務事業名	中学校情報教育機器整備事業						
担当部名	学校教育部	室課名	教育センター	室課長名	大江 慶博		

	于初于未U/W	<i>x</i> <u>y</u>													
(1)	事業開始年度	不明		改正	<i>+</i> ~1										
(2)	直近の改正	なし		内容	なし	•									
(3)	根拠法令等	学校教育法 中	中学校設	置基準 第	三次	教育振興基本計	†画 吹Ⅰ	田市情	報化推進計	十画アクショ	ンプラン				
		☑ 全部		一部(上乗-	せ、横	出し等あり)	はし等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はその説明			说明										
(5)	総合計画の体系	章 4	個性が	がひかる学	びとス	文化創造のまち [、]	づくり		節		1	糸	田節	21	
		区分				☑ 内部管理		建設	事業	□ その他	ի		-		
(6) 目 的	対象 (誰を、何を) 範囲				市立中学校 (18校)										
	目標 (どういう状態にし	<i>、ナ</i> ニレいのか	) / (	ソコン	教室等に情報教	数育用の	機器、	学校図書館	館に図書シス	ステムに引	要する機器を	を賃借▪整	産備する。		
		結果 (どのような効果が	が得られる	かのか) 学	習指導	<b>鼻及び学校図書</b>	館運営(	の充実							
(7)	事業概要					『業にり整備され る図書の管理・1									び学校
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項(	3	目	1	大事業	7	中事業	1	小事業	1
		項目				平成26年度 (2014年度)						平成28 (2016 ²			
						予算(千円) 決算(千円)			(千円)	予算(∃	千円)	決算見込	(千円)	予算(=	·円)
		<u> </u>	٦)		63,818			75,761		67,357		67,356	69,775		
		┃	職員	員数 人		0.50			0.50		0.50		0.50		0.50
		7 11 20	総額(	(B) =	千円	4,150			3,974		4,176		4,176		4,085
	-1	総事業費(A+B)				67	7,968		79,735		71,533		71,532		73,860
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C)					0		0		0	0			
		内内				0			0		0		0		
		訳	府 その			0		0		0		0			
		<u> </u>	<u> </u>			67,968								-	
			地方(			07,300		_							
		内 訳	その			0			0			0 0			
			一般則	 才源		67	7,968		79,735		71,533		71,532		73,860
		財法	源計(C+	FD)		67	7,968		79,735		71,533		71,532		73,860
		☑ 直接乳	実施				·								
	実施方法	□ 委託又は一部委託			1	委託先	①								
(10)	(該当するもの は全部チェック)	□補助釒	金•負担金	<u> </u>		主な委託内容 	1 2								
	□ その他			内容	3										

事業番号 00933

2 評	<u>ш</u> оу	1指標等	指標項目		項目			16年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			情報教育用(生徒の学習用)機器の賃借整 備	目標値	重)	単位:校)		18.00	18.00	18.00		
		指標 内容		実績値	直)	単位:校)		18.00	18.00			
	1				達成度	(%)		100.0	100.0			
<u> </u>		目標値 の積算	情報教育用(生徒の学習用)機器を整備する学校数 中学校18校	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		4,429.72	3,974.00			
         		方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		4,429.72	3,974.00			
活動指標			図書システム用機器の賃借整備	目標値	<u>i</u> )	単位∶校)		18.00	18.00	18.00		
標		指標 内容		実績値	(直	単位:校)		18.00	18.00			
	2				達成度	(%)		100.0	100.0			
		目標値 の積算	図書システム用機器を整備する学校数	単位当た	総事業費	党(単位:千円)		4,429.72	3,974.00			
		方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		4,429.72	3,974.00			
				目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00		
		指標 内容		実績値	(	単位:)		0.00	0.00			
	1				達成度	(%)		0.0	0.0			
		目標値		単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	0.00			
2 		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00			
成果指標		指標 内容		目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00		
標				実績値	(	単位:)		0.00	0.00			
	2				達成度	(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	党(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00			
へ の3 が 困指	1	活動 内容					目標					
難な場合	2	成果 内容	整備した機器を使用目的に沿って教育活動	[用目的に沿って教育活動の中で利活用している中学校数					校で学習指導、図書	書館管理に利活用さ		
	(4)総合評価		今後の方向性 (実施計画) □ <b>拡充</b>	☑ 継続	 E	□縮小		_ J	<b>廃止</b> □	終期の設定		
(4)総1			多くの冊数を管理す あり、これらの機器の るため、教員が使用す す。	保守•整備	を継続し	ていく必要があ	あります。	また、今後	後は生徒に向き台	合う時間を確保す		

所属名	教育センター				
事務事業番号	00933	事業名	中学校情報教育機器整備事業	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> птр</u>	100 100 1111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			а. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)		 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
. ( . )	u. la		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
	妥当性 (20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	   点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	<b>.</b>	 点
			a. 日標を工画る文は日標とおりの進歩状況である。(3点)   ④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。	5	点 
		14	b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
	効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		<u> </u>
(3)			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点 
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点 
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。   ・・・・・・・		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理		点
	(20無)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	······	
			内部管理 		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
	14 A+ <del></del>		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 		
(5)	持続可 能性 (20点)	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 教育センター 事務事業番号 00933	
2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)	

#### 3 事務事業の現状分析

| 所屋名 | 数育センター

5 争扬争未必统仇力机 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 有効性 公平性 効率性	
(3)現状分析	上や、保健衛生上、あるいは安全上が とから、本事業を継続して実施する必 務用(教員用)は機器整備が進んでは す。校務の情報化が進んでいるなか	だは、学校設置者に学校を管理し、学校の必要となる校具・教具を備え、常に改善しな要があります。また、教育用(児童用)PGらず、配備率30%という全国的に見てで、吹田市ではネットワークの利活用が一績処理をはじめとした校務・教材作成の資	、補充する義務を課しているこ Cの整備はなされているが、校 も低いレベルにとどまっていま ト分にできない状況にあり、学

### 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

国の施策である第2期教育振興基本計画の基本施策25に、教育環境の整備について、記述があります。 「教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数3.6人(※)、教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の席日、超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%、校務用コンピュータ教員1人1台の整備を目指すとともに、地方公共団体に対し、教育クラウドの導入やICT支援 員・学校CIOの配置を促す。

※各学校に、①コンピュータ教室40台、②各普通教室1台、特別教室6台、設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台を整備することを目 標として算出。」